

## 13①の御意見に対する対応資料

相模ダム及び城山ダムに係る公共用水域水質測定結果のCOD、T-N、T-P平均値の昭和50年から  
の経年変化については図1、図2のとおりとなります。なお、相模ダムについては昭和22年に、  
城山ダムについては昭和40年に完成しております。

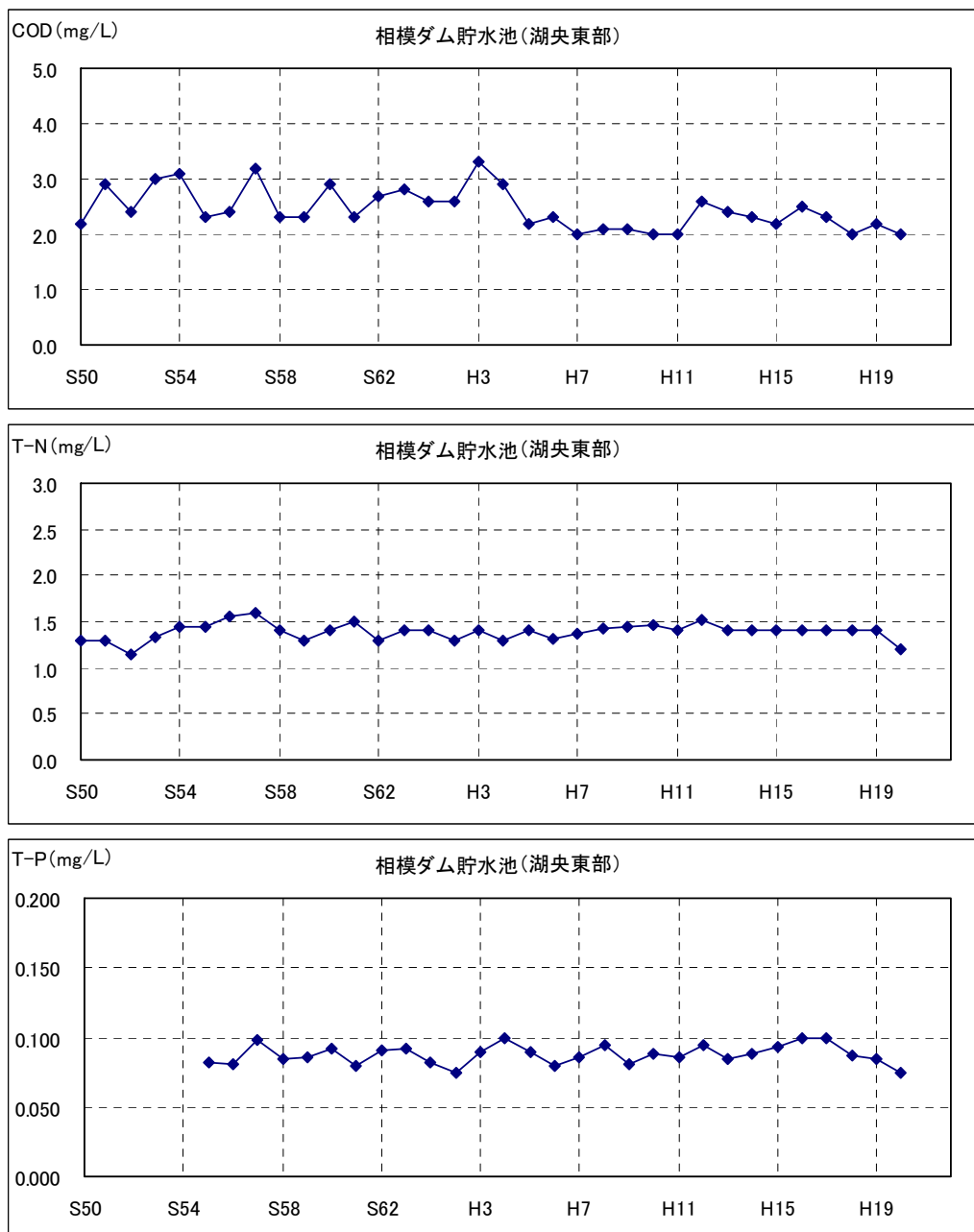


図1 相模ダム貯水池の水質経年変化(平均値)

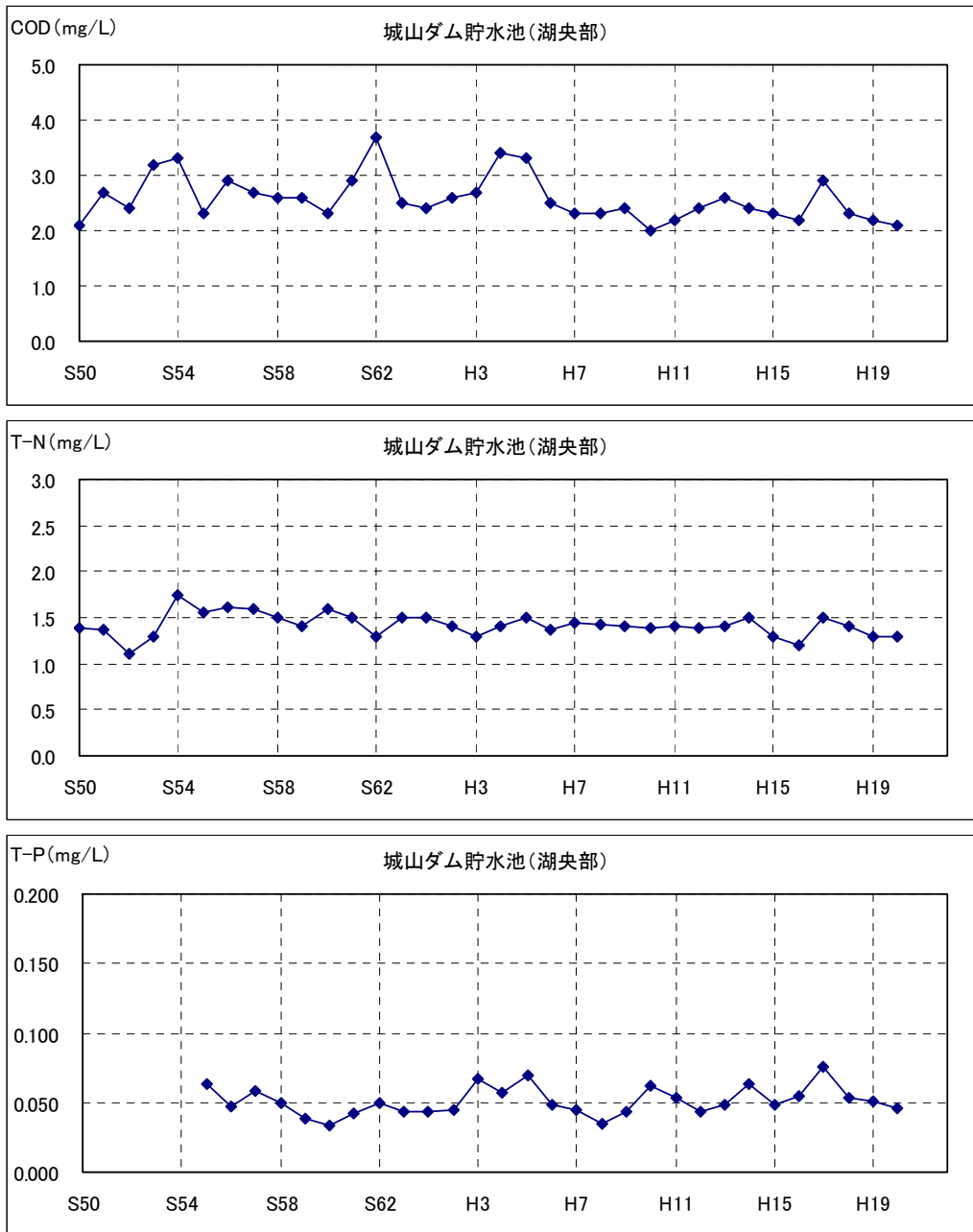
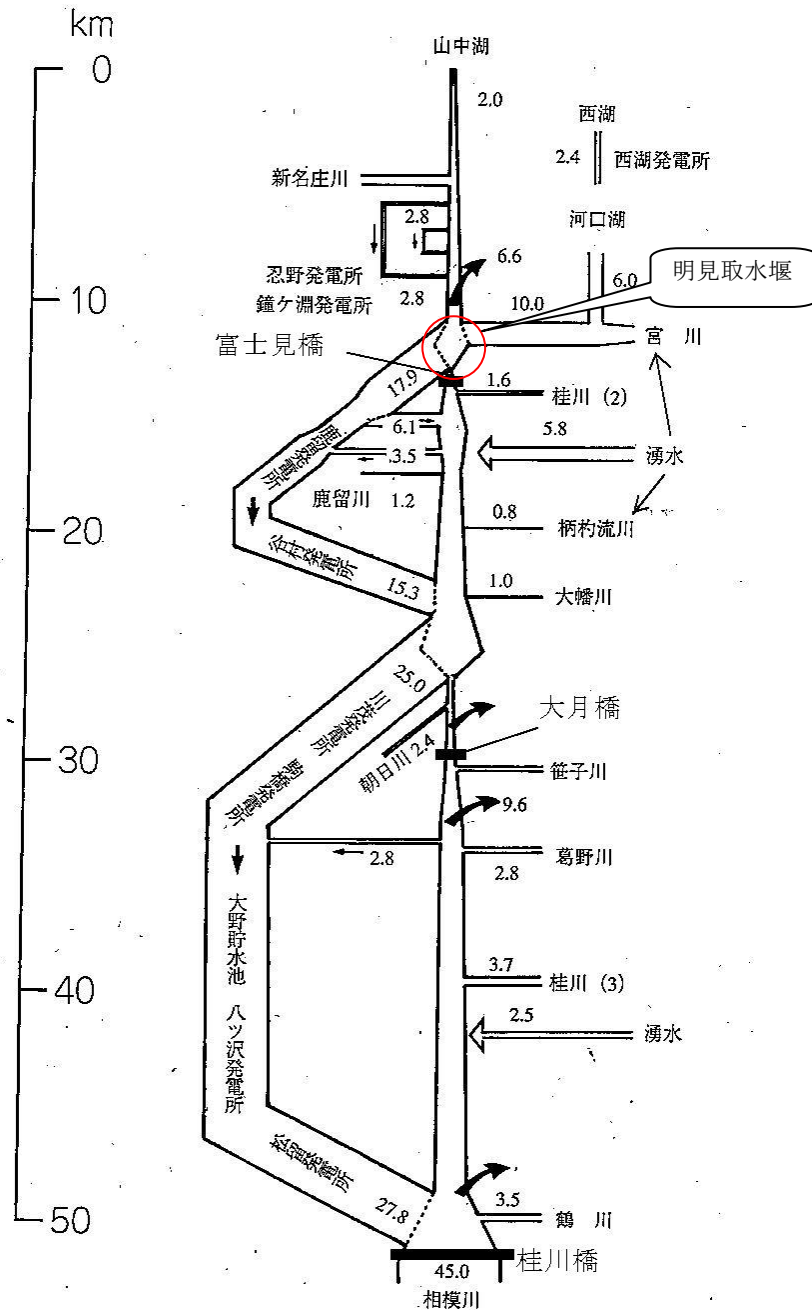


図2 城山ダム貯水池の水質経年変化(平均値)

東京電力が明見取水堰で全量をカットしているのに、地下流出量の推定値が過大である。

<ご意見に対する考え方>

相模川水系の河川と導水路の水の流れは図3のとおりとなります。明見取水堰からほぼ全量を取りますが、取水した水は系外に排出されるのではなく、再び相模川へ返送されます。よって、地下流出量は過大ではないと考えています。



出典：「水辺からのレポートⅢ 相模川 水の旅 川とみず文化研究会編」を編集  
 図3 相模川水系の河川と導水路の水の流れ